

取調べのレベルアップのきっかけに!

録音録画時代の 取調べの技術

山田 昌広 著

平成18年検事任官(東京地方検察庁)。千葉地方検察庁検事、神戸地方検察庁伊丹支部長、山口地方検察庁三席検事等を歴任し、現在、東京地方検察庁検事。

■ A5判 ■ 288頁

■ 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

ISBN978-4-8090-1428-4 C3032 ¥2500E

録音録画時代の 取調べの技術

山田昌広 著

Recording Interrogations

録音録画時代の取調べとは

「いかに真実を聞き出すか」

本来あるべき取調べの形を言語化!

東京法令出版



本書の特長

『取調べの技術』を体系化

著者が経験から得た「真実を聞き出す」ノウハウ・コツを体系的に言語化。

被疑者以外の関係者への聴取例も充実

被疑者取調べはもちろん、想定事例に沿って、被害者、目撃者、警察官といった様々な立場で事件に関わる人物への取調べについても紹介。

実務で役立つ調書記載例を詳解

聴取内容に応じた調書記載例を徹底解説。



詳細は
こちら!

内容見本

この設例では、被害者調べにおいても、誘導質問で場面を設定し質問をして詳細を語らせるのが基本であることを改めて確認していただければと思います。

被疑者調べであれ、被害者調べであれ、取調べである以上、その手法は同じです。事実をオープンに聞き、客観証拠との整合性を確かめ、供述の信用性を吟味します。

次に、被害者特有の問題として、被害者の記憶の通し方についてお話ししたいと思います。

設例2

被疑者は、会社の同僚の送別会に参加し、その三次会の席上において、部下社員の顔を数回殴り、加療約5日間を要する顔面打撲の傷害を負わせた。

三次会の席上、参加した社員等はそれぞれに相当程度酒に酔っており、被害者自身は被疑者から顔を殴られたことは覚えていない。

翌朝、被害者は三次会に同席していた同僚から事情を聞き、被疑者に数回顔を殴られたと知り、警察に被害届を提出したことから本件が発覚した。

被害者は、示談を含め、被疑者に対する対応を検討したいと述べている。

録音録画の下でどのような取調べを行うべきか。

検 討

まず、どのような捜査スケジュールを組むのかを考えてみましょう。本件の暴行行為を立証するための証拠構造を考えた場合、何が立証の柱となるでしょうか。



イラストやアイコンが豊富で読みやすい!

時々あります。

殴られたのは三次会で、殴られた記憶は全くないのでしょうか。

はい、そうです。

記憶はあり

ありません。

そうすると、あなたはどのように殴られたことを知ったのですか。

翌日、三次会にいた同僚から、被疑者に殴られたことを教えてもらいました。

あなたの被害届によると、「被疑者から4、5発殴られた。」との申告がありますが、これはあなたの記憶によるものではないということでしょうか。

はい。同僚から聞いたことに基づいて被害申告をしました。

と、記憶がない理由と、被害届の申告事実が第三者から聞いた事実に基づくものであることを明確しておくことよいでしょう。

なお、本件では、被害届に「被疑者から4、5回殴られた。」旨の申告内容が記載されていましたが、「被疑者から4、5回殴られた」と同僚から聞いた。」旨の被害届を作成するのが相当だと思います。

次に、殴られたことをどのように知ったのかを明確にすべく、次のような発問

東京法令出版

録音録画時代に、真実を聞き出すための取調べの技術とは一

本書の構成

はじめに

第1章 弁解録取について

- 第1講 銃刀法違反
～録音録画時代と調書時代の違い
□□□□ 取調べが「技術」であることの意味
- 第2講 コンビニにおけるレジからの窃盗
～弁解録取における注意点
□□□□ 取調べ「技術」の指導や身に付け方について
- 第3講 幼児に対する傷害
～供述の変遷に対する対応
□□□□ 問答形式で録取する場合
- 第4講 覚醒剤自己使用等
～手続が争われやすい事件における注意点
□□□□ ダメな取調べ①

第2章 被疑者調べについて

- 第5講 同僚のロッカーからクレジットカードを盗んだ窃盗
～供述の信用性の検討方法
□□□□ 物的証拠と供述証拠

- 第6講 ゲームセンターにおける盗撮
～具体的な供述の引き出し方
□□□□ 略式手続における注意点
- 第7講 殺人未遂
～故意に関する取調べ①
□□□□ 物的証拠を目で見ることの大切さ
- 第8講 無銭飲食
～故意に関する取調べ②
□□□□ 「自白を得る」の3つのレベル
- 第9講 特殊詐欺の受け子等
～故意に関する取調べ③
□□□□ 裁判例から学ぶ
- 第10講 事務所荒し
～犯人性に関する取調べ
□□□□ 事件の組み立てを考える

第3章 被害者調べについて

- 第11講 仮想通貨詐欺
～物証から証明できる場合
□□□□ 遺族説明
- 第12講 わいせつ目的略取未遂等
～物証が乏しい場合
□□□□ 示談について

設例で検討する17講

第4章 参考人調べについて

- 第13講 スーパーにおける万引き、殺人未遂
～目撃者の調べ、専門家の調べ
□□□□ ダメな取調べ②
- 第14講 覚醒剤自己使用、スーパーにおける万引き
～捜査警察官に対する取調べ
□□□□ 上司と部下の意見対立

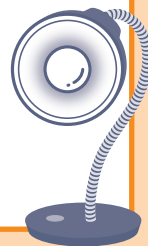
第5章 まとめ

- 第15講 録音録画の意義と取調べの技術
□□□□ 無罪事件に学ぶ

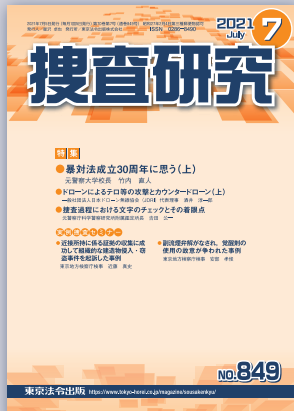
第6章 補講

- 補講① 過失運転致傷及び道路交通法違反
～裁判例から学ぶ
- 補講② 脅迫事件
～無罪事件に学ぶ

結びに代えて



好評発売中



実務に直結した、第一線警察官や捜査幹部必携の捜査専門書!

月刊誌 捜査研究

- A5判 ● 128頁 ● 毎月5日発行
- 定価990円(本体900円+税10%) ISSN0286-8490

★法改正や新制度の解説など必須の情報に素早く対応し、あらゆる捜査活動をサポート。

★警察官・検察官による実践的な事例紹介や判例解説を多数紹介。

保管スペースを取らない
電子版 もオススメ!!



電子書籍

捜査研究

- 毎月22日発行(月刊誌)
- 定価990円(本体900円+税10%)



書籍詳細
(東京法令サイト)



申込み
(Fujisan)

申込書

録音録画時代の取調べの技術 定価2,750円(本体2,500円+税10%) (コード14224)	申込部	送料は実費 税込購入金額3,000円以上、 又は新規定期購読の方は サービス
捜査研究(月号) 定価990円(本体900円+税10%) (コード97)	申込部	

貴社の個人情報に関する下記取扱いに同意し、上記のとおり申し込みます。 令和 年 月 日

(フリガナ) お取扱者(自署) (TEL - -)

お届け先 (ご勤務先)

団体名 部署名 公用 私有

個人情報の取扱いについて 東京法令出版株式会社 個人情報保護管理者 専務取締役
 ★お客様の個人情報は、契約の履行及び関連製品の案内に利用します。
 ★本人の同意がある場合又は法令に基づく場合を除き、第三者に提供しません。
 ★利用目的達成に必要な範囲内で取扱いの一部を委託することがあります。
 ★本人からの個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加又は削除・利用の停止・消去の求めに応じます。
 ★個人情報に関するご照会・お問い合わせ等は、弊社窓口(TEL026-224-5441、privacy@tokyo-horei.co.jp)までご連絡ください。
 ★お申込みには個人情報の提供が必要です。提供いただけない場合は、お申込みをお受けできないことがあります。

東京法令出版公式Twitterアカウント

@tokyo_horei



この申込書は、このままFAXで下記宛にお送りください。

■申込先
東京法令出版 委託 受注センター
〒381-0022 長野市大豆島3111
FAX 0120-338-923
TEL 0120-338-272
(携帯電話からもお申込みできます。)

会 社 使 用 欄	団体コード		<input type="checkbox"/> 納品済	入力印	
	得意先コード		<input type="checkbox"/> 請求済		
	在庫	ラベル	〒	<input type="checkbox"/> 領収済	チェック